

血対ID	受理日	番号	感染症 (PT)	出典	概要	新出文 献
70125	2007/10/24	70644	C型肝炎	Transfusion 2007; 47: 1534-1539	2002年8月28日から2005年2月28日の間にカナダBritish Columbiaのカナダ血液サービス(CBS)に報告された輸血伝播性C型肝炎(TT-HCV)疑い症例について、2002年8月以降実施された公衆衛生局(PH)への届出による影響、ならびにCBSによるHCV遡及(LB)及び追跡(TB)調査の有効性を検討した。LB及びTB調査により多数のHCV感染患者が同定されたが、PHへの届出はほとんど効果がなく、LBまたはTB調査開始の遅延を招いた。	5
70112	2007/09/28	70553	E型肝炎	J Med Virol 2007; 79: 734-742	日本におけるアラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)高値供血者の無症候性E型肝炎感染の現況を調べた。日本赤十字血液センターでALT高値(61-476 IU/L)の献血者6700名の血清検体を検査したところ、479名(7.1%)の供血者が抗HEV IgG陽性であった。ALT $\geq$ 201 IU/L群はHEV RNA有病率が有意に高かった。ウイルス血症を発症した供血者9名から得られたHEV分離ウイルスは遺伝子型3に分類された。ALT $\geq$ 201 IU/Lの日本人の約3%はHEV株の無症候性感染を有することが示された。	
70148	2007/10/26	70684	E型肝炎	Neurology 2007; 69: 156-165	同種造血幹細胞移植(HSCT)後に急性大脳辺縁系脳炎を発症した患者9名の臨床、EEG、MRI、ならびに臨床検査特性を調べた。患者は、順行性健忘、不適切な抗利尿ホルモン分泌症候群、軽度CSF多球症、一時的なEEG異常(顕性、不顕性けれども発作を反映する場合が多い)を特徴とした。MRIでは、T2、FLAIR、DWI画像にて、鉤、扁桃体、内側嗅球、海馬領域内に高信号域を認めた。PCRを用いた初回腰椎穿刺CSFの検査では9名中6名がHHV6陽性であった。CSF中のHHV-6と関連付けられる可能性がある。	(=16)
70112	2007/09/28	70553	E型肝炎	Vox Sanguinis 2007; 93(Suppl.1): P203	2005年1月-2006年4月に北海道で献血者のHEV-RNAスクリーニングを行った。388,119名のうち、男性33名(1/7,120)、女性22名(1/6,962)がHEV-RNA陽性で、genotype 3が優勢であった。55名中40名は献血時のHEV抗体陰性であり、後に陽性となった。HEV陽性者にはALT値が上昇した人もいたが自覚症状はなかった。HEV-RNAは献血後、最長37日間検出された。HEV陽性献血者由来の輸血を受けた患者7名のうち、少なくとも2名が感染した。	7
70112	2007/09/28	70553	E型肝炎	肝臓 2007; 48(Suppl.1): O-178	発症前からのウイルス血症の推移、肝炎発症から沈静化までの経過を観察しえた輸血後E型肝炎2例の症例報告である。1例は輸血21日目にHEV RNA (genotype 4)が検出され、44日目にピーク値を、もう1例は輸血後3日目にHEV RNA (genotype 3)が同定され、54日目にピーク値を示した。HEVウイルス血症は潜伏期間を経て発現し、対数増殖後約50日前後にピークを示し、その直後にAST、ALT上昇と血中抗HEV抗体の出現を順に認めた。	8